



熊取公明党

H27年秋 第50号 熊取公明党

議会報告

わたなべ豊子 453-5119
二見ひろ子 452-6584

* * * H27年9月定例議会報告 * * *

* 平成 26 年度一般会計歳入歳出決算が不認定になりました！（賛成6 反対7）

<熊取町平成 26 年度決算報告>

| | | |
|-----------------|--------------------------|---------------------------|
| *一般会計 | 歳入：121 億 70 万 4,574 円 | 歳出：119 億 7,721 万 9,743 円 |
| *一般・特別会計 | 歳入：218 億 1,414 万 6,500 円 | 歳出：216 億 9,138 万 7,144 円 |
| *実質収支（一般会計） | 5,311 万 3 千円の黒字 | |
| *実質収支（一般・特別会計） | 5,238 万 8 千円の黒字 | |
| *町債総額（26 度末現在高） | 155 億 9,896 万 8 千円 | （前年度より 3 億 2,526 万 2 千円減） |
| *基金総額（26 度末現在高） | 41 億 49 万 2 千円 | （前年度より 2 億 8,882 万 9 千円減） |



☆平成 26 年度の一般会計歳入歳出決算不認定について・・・

私たち熊取公明党は、51 年連続の黒字決算、妊婦健診助成も府内トップクラス、子ども医療費助成の中学 3 年まで拡充、全小中学校の非構造部材の耐震化等、住民の命に係わる施策に重点配分されたことを評価し賛成。共産党は、超過勤務手当を削減し、臨時職員で対応したことが許されないと反対。熊愛の会と未来は、基金を取り崩し、損害賠償金を雑入にして黒字にした町政運営は認められないと反対。

* 「控訴の提起」が否決！（賛成6 反対6 退席1 議長採決で否決！）

住民訴訟の原告住民が原告弁護士に支払うべき弁護士報酬を本町に支払えと訴訟を提起したもの。

<第一審判決内容> 被告（熊取町）は原告（住民訴訟の原告 4 名）に、2100 万円及び平成 26 年 1 月 10 日から支払い済みまで年 5 分の金利を支払うこと。

「控訴の提起」：町は、第一審判決を不服とし、最高裁へ判断を仰ぐため、追加議案として上程した。

結果：賛成 6、反対 6、退席 1、議長採決で否決となり控訴を断念し、第一審判決が確定された。

- ・私たち熊取公明党は、最高裁判所に判断を求めることは、過去の判例から減額される可能性があると考えられ、「控訴の提起」に賛成すると討論をしました。（町の算定額は 1,000 万円程度だった。）
- ・共産党は反対討論もなく控訴に反対しました。未来会派も反対討論もなく、一人は退席をしました。
- ・議長は判決文を読みながら、第一審判決額は適当であると反対しました。

* 公明党提案の意見書が採択され、関係省庁の大臣に提出されました！！

☆地方創生に係る新型交付金等の財源確保を求める意見書

「地方版総合戦略」の策定を推進するとともに、新型交付金等、今後 5 年間にわたる継続的な支援とその財源の確保など、地方創生の深化に向けた支援を強く要請する。



いよいよマイナンバー制度が始まります！



- ・マイナンバーは赤ちゃんからお年寄りまで、日本に住み票を持つ一人に一つずつ配布される 12 ケタの番号です。マイナンバーをお知らせする「通知カード」が、簡易書留で 11 月末までに郵送されてきます。
- ・平成 28 年 1 月から、社会保障・税・災害対策の各種手続きの際、通知カードが必要になります。
- ・「個人番号カード」の交付を希望する方は、簡易書留に同封されている書類に顔写真を貼り、返信用封筒で郵送して申請してください。個人番号カードを無料で受け取ることができます。（お問い合わせは 0570-20-0178）